

南大東島の子 左京で農作業

寒さ負けずカブ収穫

沖繩県・南大東島の南大東小5年生が13日、京都市左京区で農作業を体験した。同県が実施する就業体験の一環で、子どもたちは慣れない京都の底冷えする関心を高めてもら

に戸惑いながらも、熱心に取り組んでいた。南大東島は、沖縄本島の東約400キロに位置する。就業体験は、子どもたちに仕事に対



傷を付けないようにカブを収穫していく
南大東小の児童(京都市左京区)

おとうと昨年からは島外で実施。島の農業はサトウキビがほとんどで地産地消を進めていることもあり、京都でも野菜の収穫を体験した。

5年生13人は、畑でカブなどを収穫し、商品として売り出すための洗浄や包装作業も行った。野菜の表面を傷つけたたり、茎が折れたりしないように指導を受けて汗を流した。

桃原聖良さん(10)

は「一つずつ丁寧に扱う大切さを学んだ。島の野菜とは違うし、難

しかつたけど勉強にな
った」と話していた。
14日以降は、上賀茂
神社でみこの職場を見
学したり、商店街で販
売体験などを行い、16
日に帰る予定だ。

（宇都寿）

(宇都寿)